



春雨桜に涙する

秋山駿

桜の木は知っている

「頑張れ」は届かない。

「頑張っ」も届かない。

「1つになろうよ」

この言葉は、私たちの励ましにさえならない。

悲しみは深く、深く、心の奥底に閉じ込められているようだ。

「なぜ」と人に問うこともできない。

「なぜ」と自分に問うこともできない。

ましてや、「なぜ」と自分を越えた存在に問うこともできない。

この現実には、圧倒される。

マスコミは言う。

メディアは言う。

「被災地の皆さん、すぐそこにいますから」

しかし、私たちにあなたの言葉は届かない。

それでも、桜は、確実に芽吹いて、時の移ろいを私たちに告げる。

まるで、そこにある、3月11日の被害がなかったかのように。

この悲しみをどうしたら鎮魂できる。

何を鎮魂すればいいのだろう。

瓦礫の中に埋もれた、兄弟、姉妹、両親。

あなた方は知らない。

この現実をあなた方は知らない。

しかし、そこに立つ、桜は知っている。

恐れも、不安も、哀しみも。

涙は地を伝い、やがて木々の糧となる。

そうして、桜は花を咲かすのだろう。

卯月、桜、咲く

